

ホットライン 携帯電話も

新宿・戸山団地
高齢者支援NPO

85歳以上の入居者が6割を占める新宿区の大規模都営団地「戸山団地」で、地元NPOが普及を進めている悩み相談のホットラインに携帯電話サービスが

加わった。24時間365日コールセンターにつながらうえ、外出先からでも利用できるのが特徴だ。

NPOは、高齢者を支援するため地元住民らが07年に設立した「人と人をつなぐ会」(本庄有由理事長)が、ホットラインは大分市の通信機器社が開発したシステムで、自宅に備え付けた専用端末機のボタンを押せば

コールセンターにつながり、日常生活の相談や救急搬送の手配などのサービスが24時間体制で受けられる。また、



○理事長の本庄有由さん(新宿区のNPO事務所)

同NPOは新宿区社会福祉協議会と連携しており、利用者が希望すれば同協議会の担当課などにつながる。

専用端末機のホットラインサービスはこれまで約50人が利用してきたが、同社が携帯電話を活用したシステムを開発したため、同NPOは4月に導入。これまで戸山団地や周辺の高齢者ら約40人から申し込みがあったという。同NPOの本庄理事長は「各自治体と連携し、サービスを全国に広めたい」と話している。【馬場直子】